

平成23年度

農山漁村再生可能エネルギー導入可能性調査支援事業

評価報告書

# 島根県

<平成26年度報告>

## 事業評価報告書

### 1. 調査結果を活用した再生可能エネルギー電気を供給する取組の概要

#### 1) 報告書事業スキームの3案について

取組主体	取組概要
雲南市	雲南市では、木質バイオマスを活用した再生可能エネルギーの拡大を図っている。市によるチップボイラー等の整備に合わせ民間企業によるエネルギー供給会社を設立し、森林組合と製材会社による原料供給とともに、市民は林地残材の運搬等のエネルギー生産活動に参加し、地域通貨との連動による地域内での経済循環を創出している。これは「たたらの里山再生特区」における活動に大きい起因している。
由志園アグリファーム(株)	由志園アグリファーム(株)では、雲州人参の栽培に適応させた形での太陽光発電の実施を検討中である。
農山漁村団体	農山漁村の団体では、漁港漁場の沿岸地域における太陽光発電の取組をされている事例は、現在のところ、確認していない。

#### 2) ヒアリング内容（農山漁村に関連する内容）

取組主体	取組概要
特になし	

### 2. 評価

現在、島根県における農山漁村における再生可能エネルギーの取組はあまり動いていない。

島根県では、大規模な太陽光発電（メガソーラー）が堅実に伸びている。また風力発電および小水力発電はほぼ横ばいであるものの、木質バイオマスは本年度より開始予定の2箇所が本格稼働する。そうすると県内の未利用バイオマスはすべて消費されることとなる。またヒアリング結果より、農山漁村の事業者で再生可能エネルギーの導入を検討している事業者がいなかった。上記より、農山漁村における再生可能エネルギーの導入は非常に難しい状況であると想定される。

本事業の目標である平成27年度末で島根県下における再生可能エネルギー電気を供給する取り組みが3箇所以上行われることについては、引続き、取組主体および市町村に情報提供を行うことで目標を達成することを目指す。